

長野県飯田市との連携協定の締結による 研究活動報告

小玉 敏也・朝岡 幸彦

1. 「研究連携に関する覚書」を締結するまでの経過

長野県飯田市との連携協定（立教大学 ESD 研究所と飯田市との ESD 研究連携に関する覚書）の締結に向けた取り組みは、2017 年 2 月 20 日に開催された連携協定締結 3 自治体（長崎県対馬町、北海道羅臼町、静岡県西伊豆町）合同研究会への飯田市役所担当者（企画課 大学連携係）のオブザーバー参加を求めたことに始まる。

全国的な ESD 関連会議等において飯田市長との面識及び交流のあった阿部 ESD 研究所長のアドバイスから、飯田市が日本国内でも有数の環境先進都市であるとともに優れた ESD 実践地域であるとの認識が共有されていた。また、朝岡客員研究員が本務校（東京農工大学）の教育・研究を通して約 10 年間にわたって飯田市のフィールドワークを続けてきた経験をもとに、ESD 連携協定を結ぶにふさわしい自治体として交渉が始められた。

市担当者の合同研究会への参加及び朝岡客員研究員と飯田市担当者（教育委員会及び企画課）との交渉を通して、当研究所から①飯田市で取り組まれている政策や実践が ESD そのものであり、その視点から評価・発信することがまちづくりの発展につながると思われること、②学輪 IIDA を含む飯田市に関わる研究者の中に教育政策・教育実践にアドバイスできる専門家集団を組織することが、これからのまちづくりに有効であると思われる、などの点を指摘した。これを受けて、飯田市から協定を結ぶことで具体的な課題にどのような協力が得られるのかが重要であるとの問い合わせがあり、両者の意見交換を踏まえて、立教大学 ESD 研究所が貢献できる可能性のある具体的な課題として、①公民館主事をはじめとした社会教育職員の専門性を高め、客観的に評価できる方法の開発と実践への協力、②学校教育における環境教育の充実への協力、③小中一貫教育及びコミュニティスクールの充実への協力を例示した。さらに、他自治体との協定書にある「ESD 地域創成拠点研究会(仮称)」を、2017 年度中に ESD 研究所と飯田市の関連部局、教職員、市民で組織し、それぞれの課題ごとに調査・研究、評価・提案を定例研究会(勉強会)で行うことを提案した。また、例示した具体的な課題の解決に向けた当研究所の体制を強化するため、牧野篤教授（東京大学）に客員研究員として加わってもらうこととした。

こうした経過を経て、2017 年 8 月 4 日に阿部所長と朝岡客員研究員が飯田市を訪問し、牧野市長及び代田教育長への表敬訪問とともに担当部長・課長等（総合政策部、環境部、教育委員会）との協定締結に向けた打ち合わせを行った。また、8 月 21 日に飯田市担当課長等（北原学校教育課長、池戸環境課長、竹内環境モデル都市推進課長、上沼学務係長）が立教大学を訪れ、阿部所長、朝岡客員研究員、高橋特任研究員と、今後の連携可能性及び連携窓口、今後の予定等について、詳細な打ち合わせを行った。飯田市教育委員会からの喫緊の課題として飯田市立上村小学校の小規模特認校指定による特色ある学校づくりへ

の協力依頼があったことを受けて、当研究所の研究会で「森の小学校（飯田市立上村小学校）構想のための方策〈朝岡メモ〉」等の提案が検討され、年内に連携協定を締結し、年度内に研究会を開催することを確認した。

12月14日に立教大学において牧野光朗飯田市長と阿部治立教大学ESD研究所長との間で、「立教大学ESD研究所と飯田市とのESD研究連携に関する覚書」（連携協定）が締結された。

2. 覚書締結後の事業の進展

覚書締結の前後、ESD研究所は飯田市役所、同教育委員会、遠山地区の小中学校と、以下のような経過で事業を推進していった。

（1）第1回訪問（2017年10月1日～3日）

①参加研究員：朝岡幸彦・小玉敏也

②訪問先：飯田市教育委員会、同市立追手門小学校、同市立上村小学校、
同市立遠山中学校

③概要

- ・飯田市教育委員会では、学校教育課学務係長・同課指導主事、専門官に、遠山地区の学校教育及び地域の現状と課題についてヒアリングを実施した。
- ・飯田市立上村小学校では、教育委員会学務係長、公民館主事、同校教頭に、同小学校の現状（教育活動の特徴）と課題（児童数の推移、小規模特認校の問題）に関するヒアリングを実施した。
- ・飯田市立遠山中学校も、上村小学校と同様。

（2）第2回訪問（11月28日～29日）

①参加研究員：小玉敏也

②訪問先：飯田市教育委員会、同市立上村小学校、同市立和田小学校

③概要

- ・飯田市教育委員会では、教育長・教育次長・学務課係長・同課指導主事に、飯田市の教育行政全般、遠山地区の学校教育と社会教育の現状、上村小学校の小規模特認校に係る施策について意見交換をした。
- ・上村小学校では、学校長と公民館主事に、同校の教育方針と学校運営の概要及び地域の社会教育の現状と課題について意見交換をした。
- ・和田小学校も、上村小学校と同様。

（3）第3回訪問（1月19日～20日）

①参加研究員：朝岡幸彦・小玉敏也

②訪問先：飯田市シルクホテル、旧飯田工業高等学校

③概要

- ・飯田市役所主催「大学連携会議『学輪 IIDA』全体会」（別紙参照）に出席し、同市に

関与する大学・研究機関等の関係者の議論に参加した。

- ・全大会終了後に、飯田市役所企画課長と、遠山郷 ESD プロジェクトの推進のあり方に関して意見交換を行った。

(4) 第4回訪問(2月16日～17日)

①参加者：阿部治(所長)、朝岡幸彦・小玉敏也(研究員)

②訪問先：飯田市立遠山中学校、飯田市南信濃自治振興センター

③概要

- ・飯田市遠山中学校では、阿部治・朝岡幸彦・小玉敏也が講師となって、『遠山郷の教育の可能性を考える学習会』を開催した。出席者は、遠山中学校・上村小学校・和田小学校の教職員、各校の保護者、公民館主事、教育長、教育委員会関係者で、全体で50名程度集まった。
- ・南信濃自治振興センターでは、上記の保護者を除く関係者が出席し、前日の学習会のふりかえりと、2018年度以降のESD事業の展望について意見交換をした。



図1 遠山郷の教育の可能性を考える学習会

3. 2018 年度の課題と展望

ESD 研究所と飯田市との研究連携事業（以下「ESD 事業」）は、関係機関の支援によって、遠山中学校区 3 校の教員研修と地域学習会を開催できたことが顕著な成果であった。各学校では、ESD という用語を知る教員がほぼいなかった状態から、2017 年度末の時点で全員が ESD の理念と内容を理解することとなり、各校が同一のスタートラインに立つことができたと言える。また、地域の保護者にも好意的に受けとめられ、3 校が一体となって遠山中中学校区の ESD を推進していく土壌は整えられたものとする。

2018 年 2 月 17 日の会議では、関係者間で今後の展望が話し合われ、①幼少中の 12 年間のカリキュラムを作成する必要があること、②3 校と幼稚園に共通する「コアな取り組み」を創り出したいこと、③これまで以上に 3 校の距離を縮めるだけでなく、小学校（全科担任制）と中学校（教科担任制）の特性を踏まえた ESD の取り組みを構想していくこと等が確認された。また、2018 年度も、ESD 研究所が、教員研修や地域学習会に継続的に関与していくことも合意された。

しかし、ESD 研究所の立場から中長期的視点で考えると、以下のような課題と展望が提示できる。

（1）小規模特認校としての上村小学校の教育課程に、どのように ESD の理念・方法を反映し、それが児童数増加のための「学校の魅力化づくり」に貢献できるか、具体的に議論しなければならない段階にある。現在は、ESD を教育課程の一部として導入しているが、これが教育課程全体を覆うコンセプトとして位置づけられることを期待する。また、上記 1 の「森の小学校」構想が、上村幼稚園の教育活動と上村公民館の主催事業とタイアップして統合され、上村小学校の魅力化づくりに繋がるような取り組みを、関係者間の議論を経て具体化する必要がある。

（2）2018 年度、遠山中中学校区の 3 校は、ESD に関する教員研修を推進し、ユネスコスクールへの加盟手続きを開始するものと予想される。同時に、自校の教育課程を新学習指導要領の内容を踏まえながら斬新的に再編成を行っていくことも予想される。本研究所は、それらの取り組みに何らかの支援や働きかけを行いつつ本事業を推進していく予定である。その際に、遠山中中学校区の公民館が主導する社会教育の取り組みと、どのように連携し融合した上で、遠山中中学校区の特性を生かした地域教育（ESD）に発展していけるか、具体的に議論する必要がある。

（3）同地区での ESD 事業は、飯田市の他地域での ESD に波及することも期待している。数年後には、飯田市中心部の複数の学校（高等学校も含む）が ESD を実践し、お互いの相乗効果をもたらすような状況を期待している。飯田市は、新しい産業創出に係る政策、自然エネルギー活用に代表される環境関連政策、高等学校における地域人教育等、すでに ESD に通じる先進的な諸活動を展開してきた実績があり、これらを推進する基盤は市民の高い自治意識と共同的な学習力にある。これまで、各学校の教育活動が、同市の諸施策・活動と十分に連携できていなかったとしたら、今後 ESD のコンセプトを軸に総合していくこと

を中期的な視点で検討していく必要がある。とりわけ、高等学校（下伊那農業高等学校・OIDE長姫高等学校・飯田高等学校）へのESD導入は、同市の学校教育と社会教育の発展に大きな可能性をもたらすものとする。

（こだま・としや 麻布大学教授／立教大学ESD研究所客員研究員）

（あさおか・ゆきひこ 東京農工大学教授／立教大学ESD研究所客員研究員）

平成 29 年度 大学連携会議「学輪 IIDA 全体会」開催のご案内

学輪 IIDA 事務局

- 【主催】** 飯田市 **【共催】** しんきん南信州地域研究所
- 【日時】** 平成 30 年 1 月 20 日（土） 14：00～17：00 公開セッション・懇親会
平成 30 年 1 月 21 日（日） 8：40～ 内部討議
- 【場所】** 公開セッション : シルクホテル 錦繡の間
内部討議 : 産業振興と人材育成の拠点（旧飯田工業高校）
- 【目的】** ・学輪 IIDA メンバー間の情報共有と相互の交流を深める機会
・大学連携や学輪 IIDA の取組を、市民など多くの方々に知っていただく機会
・学輪 IIDA の今後のあり方や具体的な取組などに関する検討の機会
・地域と大学との更なる連携に向けた検討の機会

公開セッション 20 日（土）14 時～17 時（180 分） ※受付 13 時 30 分～

ナレッジリンクの一翼を担う田園型学術研究都市に向けて
イノベーションが起こる地域社会創造を目指して

- 【開会あいさつ】** 飯田市長 牧野 光朗
- 【基調報告Ⅰ】** …学輪 IIDA 実践事例報告
ロンドンビジネススクールの取組（仮題） 京都外国語大学 准教授 堀口 朋亨 氏
学輪 IIDA 共通カリキュラム構築プロジェクトの取組 静岡文化芸術大学 准教授 高島 知佐子 氏
- 【基調報告Ⅱ】** …活動紹介
地域人教育の取り組みについて（仮題） 飯田 OIDE 長姫高等学校 Sturdyegg
- 【フリーディスカッション】** …討論会
東京への一極集中が進み、人口減少、少子高齢化に歯止めがかからない中、イノベーションが起こる地域社会の創造や、その社会を担う地域人財の育ちに向けて、大学・地域・高校・企業等の果たす役割、新たな連携の在り方、意義、可能性などについて、参加者の皆さんとともに考えます
- ファシリテーター 立命館大学 教授 平岡 和久 氏
- ① 議論提起 法政大学 教授 石神 隆 氏
- ② フリーディスカッション 参加者全員

懇親会（会費制） 20 日（土）18 時～

見学 21日(日) 8時40分～

○見学Ⅰ (仮称)リニア長野県駅予定地
※座光寺麻績神社から予定地を見学、駅周辺整備計画の概要説明

○見学Ⅱ 旧飯田工業高校同窓会館

内部討議 21日(日) 9時25分～

【開会あいさつ】 飯田市長 牧野 光朗

【テーマ1】「産業振興と人材育成の拠点」の活用に関する情報共有

- (1) 産業振興と人材育成の拠点の概要と整備について 信州大学 教授 柳原 正明 氏 ほか
 - ① 概要、整備スケジュール、信州大学サテライトキャンパス・航空機システム共同研究講座等
 - ② 施設見学
 - ③ その他
- (2) 質疑応答・意見交換

【テーマ2】学輪 IIDA の今後の取組に関する意見交換

- (1) 今後の取組に関する意見交換
 - ① 共通カリキュラム構築プロジェクト会議について
 - ② 高校と大学の連携・共学などのプロジェクト
 - ③ 機関誌の作成について
 - ④ 南信州・飯田フィールドスタディについて など
 - ⑤ その他
- (2) 飯田市の取組と学輪 IIDA との連携の可能性に関する意見交換
 - ① 世界人形フェス、AVIAMA 等の連携について
 - ② その他

【閉会】

ランチ 21日(日) 12時30分頃～

立教大学 ESD 研究所との連携による学習会

進行表

- 1 日時：平成 30 年 2 月 16 日（金） 午後 7 時～午後 8 時 30 分
- 2 場所：遠山中学校
- 3 実施主体：立教大学 ESD 研究所、飯田市、飯田市教育委員会、遠山中学校区 3 校による共催
- 4 対象者
遠山中学校区 3 校の先生方、保護者（希望者）、学校運営協議会メンバー、
2 地区住民（希望者）、庁内関係部署の職員
- 5 テーマ： 遠山郷の教育の可能性を考える
- 6 プログラム：（全体で 90 分間）
 - (1) 開会 ※進行：学校教育課 学務係長 上沼 【19 時 00 分～】
 - (2) 学習会に至る経過説明 ※学校教育課 田中教育指導主事 【19 時 00 分～19 時 05 分】
○ESD 研究所との関係、今回の学習会に至った経緯等
 - (3) 遠山 3 校の現在の取組について 【19 時 05 分～19 時 25 分】
○各学校の魅力ある学校づくりに向けた取組について
 - ・上村小学校 → 和田小学校 → 遠山中学校の順
 - ・各校約 5 分間
 - ・全校発表後、質問の時間を取る（時間により割愛）
 - (4) ESD 研究所の先生方による講演 【19 時 25 分～20 時 15 分】
 - ①講師紹介 ※上沼
 - ②先生方による講演
 - 進行も含め、先生方にバトンタッチ
 - お話いただく順番等、学習会の前段に打ち合わせを行う
 - (5) 質疑・応答 ※上沼 【20 時 15 分～20 時 25 分】
 - (6) 学習会のまとめ ※田中教育指導主事 【20 時 25 分～20 時 30 分】
 - (7) 閉会 ※上沼